

帯広市立北栄小学校 学校便り 10号



ほくえい

<http://www.hokuei.obihiro.ed.jp>

平成29年7月13日

発行者 校長 高原 茂雄

- 思いやりのある子
- たくましい子
- 助け合う子
- よく考える子
- 進んでやる子

三つのお知らせ

① 自転車での事故で最も心配なことは「転んで頭を打つ」ことです。自転車用ヘルメットの着用は頭への衝撃を和らげるために大変有効な方法です。

幼児・児童を自転車に乗せる場合はヘルメットを着用させるよう努力することが求められています。

ヘルメットを持っている場合は、自転車に乗るときはヘルメットをかぶるようお話しください。ヘルメットをお持ちでない場合は、早い機会に入手し、使用してください。

本校でも今年度になって自転車でのけががいくつか起こっています。大きな事故を起こさないために、自転車の乗り方に注意していきましょう。



② 最近登下校途中に、ガムやアメなどを口に入れ登下校してしまった人がいました。たまたま、口にはいったまま家を出てきたのかもしれませんが、ポケットに入っていたので、つい口に入れたのかもしれませんが。掃除をしているとお菓子の包み紙が出てくることもあります。

小さなことかもしれませんが見逃せないことだと考えています。学校ではわかったらすぐ、学級で指導しています。「あたりまえなこと」からしっかり指導することが大切だからです。



③ 暑い日が続いています。熱中症や脱水等で体調を崩さないか心配です。

水分の補給のために水筒を持って来ても良いことにしました。中身は水か氷に限っています。

期限は決めていませんが、時期になりましたらメールなどでお知らせします。



アートにふれる学習

能楽教室、音楽集会とアートに触れる行事を実施しました。

能は日本の伝統的な芸能ということは知っているにしても、実際に見たことがある人は少ないと思います（本校の職員もそうです）みたいと思います。今回、市民劇場さんの助けて、本物に触れる体験ができたことは大変ラッキーでした。

たった一回、短い時間での体験で「ファンになる」ことは期待できませんが、6年生で歴史を学習するとき、中学・高校で古文を学ぶとき、大人になって和楽器にふれたとき、「小学校のとき、見たことがあったなあ」と思ってくれるだけでも意味があると考えています。保護者の方・地域の方が見に来てくださったこと、もううれしいことでした。



面（おもて）をかけました

能が見るアートなら音楽集会は作るアートです。今年も学年ごとに楽しい・美しい音楽を発表してくれました。学年の演奏曲を紹介します

- 1年生
歌「校歌」鍵盤ハーモニカの踊り付き演奏「魔法のド」
- 2年生
鍵盤ハーモニカ演奏「かえるの合唱」歌「子犬のピンゴ」
手作り楽器演奏「ピョコピョコロックンロール」
- 3年生
歌「ドレミの歌」
笛と歌「ゆかいな牧場」
- 4年生
歌「ゆかいに歩けば」
笛「エーデルワイス」
- 5年生
笛「ピタゴラスイッチ」合唱「レッツ テイク ア チャンス」
- 6年生
歌「A Whole New World」(英語) 笛「パッヘルベルのカノン」
全校合唱 「世界が一つになるまで」



1年生のダンス&プレイ

